

梅澤ゼミ 多摩市サイクルマップ 制作プロジェクト

プロジェクト担当者

石黒秀多(リーダー)

大森瞭太朗 立野雄太 中野知致 増田淳

目次

- プロジェクトの目的
- プロジェクトを始めたきっかけとコンセプト
- ポタリングとは
- プロジェクト期間・調査エリア
- プロジェクト概要
- 多摩市ポタリングマップ
- 活動スケジュール
- 考察
- 今後の課題について
- 補足
- 参考資料、URL

目的

生活の中で、買い物や通勤通学などでの身近な移動手段として使われている自転車が環境に優しい乗り物として注目を浴びている。

暮らしの中で日常的に利用されているシティサイクルで楽しむことができる多摩市のポタリングコースを作りたいと考えた。



日常生活圏の余暇活動としての自転車の魅力について伝えたい。自転車を漕ぐことの面白さ、奥深さに気付きを与え、レジャーとしての自転車の楽しさを再認識してもらいたい。

プロジェクトを始めたきっかけ

ゼミの中でプロジェクトを行うにあたり、自転車をテーマにした多摩市のマップを制作したいと考えた。多摩市役所で正式なサイクリングマップがあるのかどうかを調査したところ無いことが判明しサイクリングマップ制作に乗り出した。

プロジェクトのコンセプト

老若男女、だれでもレジャーとしての自転車の楽しさに気付いてもらう為、コンセプトをポタリングとした。

<ポタリングとは>

語源は【putter】から【potter】に変化したもので、「のんびりする」、「ぶらつく」という意味である。短距離を自転車でのんびり走り、主に観光名所を周るときなどに使用される。



プロジェクト期間

2010年 5月 ~ 2011年 2月
計10ヵ月間

プロジェクト調査エリア

東京都 多摩市内

プロジェクト概要① マップ制作手順

- ① 地図で道を確認し、フィールドワーク当日にどこの範囲を走行するかを選定
- ② ①終了後フィールドワーク実施日の決定
- ③ 実施日当日に揃ったメンバーでフィールドワークを開始(計14回)
- ④ 走行終了後、個人個人で報告書と感想などの作成
- ⑤ ③～④の作業を終了後、ミーティングを行いメンバー全員の意見交換(計45回)
- ⑥ 意見交換で出た情報を踏まえマップを制作

7

プロジェクト概要② フィールドワーク

マップ制作のために多摩市の要所・地系・道を知るために京王永山駅駐輪所でレンタサイクルを利用し多摩市全域散策。その中で、四季折々の風景の変化が楽しめるという、緑豊かな多摩市の魅力について知ることができた。

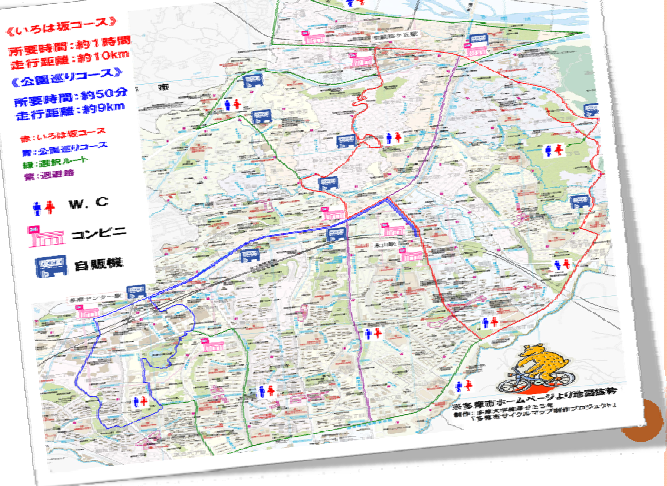
夏のゆうひの丘

秋のゆうひの丘



8

多摩市ポタリングマップ(コースマップ)



多摩市ポタリングマップ(要所説明)



活動スケジュール (9/30迄)

赤字:フィールドワーク

日誌	場所	出席者	活動内容
5月27日	223教室	全員	プロジェクトの方向づけ(マップ作成の意図・用意する物など)
6月1日	秘書室	全員	浜田先生に面会し、話し合いの中で「プロジェクトの期間・企画範囲・他との差別化を検討するよう」とご指導いただき
6月3日	223教室	全員	京王先生との高鉄の路線をゼミ内で検討し、それ以降の方向付けを行う。
6月7日	多摩市役所	石黒・増田	市役所にて多摩市の地図を閲覧
7月9日	秘書室	全員	梅澤先生に経過報告・企画コースの目的・企画書作成の指示を受ける
7月20日	442教室	石黒・増田 立野・中野	懇話会に集まり、夏季休業中の予定を確認する。
7月21日	図書室	全員	前日に続き、具体的なフィールドワークの予定を立てる。
7月22日	223教室	石黒・増田 立野・中野	ゼミ内で今までの経過を報告。目的やコースについて再確認の必要ありと指摘される。
7月23日	多摩市役所/学内	石黒・立野 増田・中野	市役所にて多摩市内のサイクリングマップやレンタサイクルの有無を確認する。又、学校職員への自転車利用に関するヒヤリング調査を行う
7月25日	ひじり館	石黒・増田 立野・中野	今までの結果を踏まえ、目的やコースの再検討を行う
7月29日	223教室	全員	マップの目的やコンセプトについて再度話し合う。結局実際のコースを走ってから決める事に
7月30日	図書室	全員	最初に想定した、永山→多摩センターのコースを走行
8月6日	永山/多摩センター	石黒・立野 中野・増田	前回のコースを再確認後、二手に分かれ多摩市内の公園を巡る
8月15日	永山/多摩センター	石黒・大島 増田・立野	聖蹟桜ヶ丘方面の散策
8月25日	聖蹟桜ヶ丘周辺	石黒	多摩川サイクリングロード、聖蹟桜ヶ丘方面散策
9月1日	多摩市北部	石黒・大島	二手に分かれ、多摩市北部と北東部をそれぞれ散策
9月1日	111教室	石黒・増田 立野・中野	これまでのフィールドワークの成果を基に、コース決定のミーティングを行う
9月2日	多摩市内	全員	前日決定したコースを実際に走行し、改善やスポットの探索を行う
9月3日	111教室	石黒・増田 立野・中野	梅澤先生を交えてフィールドワーク報告を行う。その中で、夏季休業中の定例の中間報告した疑問点などについて質問いただいた。又、今後必要になる市役所への聞き取り調査の仕方などについてのアドバイスをいただいた。
9月5日	ひじり館	石黒・増田 立野・中野	活動経過報告書・企画計画書の確認と訂正
9月6日	経井沢子サイン	全員	企画計画、活動経過を発表。先生やゼミ生の意見を聞き訂正を行う
9月7日	〃	〃	計画書の訂正と確認
9月8日	〃	〃	会場で仕上げた、計画書の発表。先生やゼミ生の意見を聞く
9月12日	ひじり館	全員	フィールドワーク報告書を作成
9月16日	多摩市役所	石黒・立野 中野・増田	多摩市役所にてプロジェクトに関する質問を行った
9月17日	永山・多摩センター	石黒・立野 中野・増田	那志保ヶ丘公園、多摩センター-聖蹟桜ヶ丘方面を散策。
9月22日	図書室	石黒・増田 立野・中野	今までの確認、以後何をするかの確認。
9月29日	図書室	大島・立野 中野・増田	決定コースの確認、経過報告の調整。
9月30日	111教室	〃	〃

11

活動スケジュール (2/4迄)

赤字:フィールドワーク

日誌	場所	出席者	活動内容
9月30日	223教室	全員	夏季休業後の経過報告
10月7日	223教室	石黒・大島 増田・立野	SRICまでの予定と用意するもの決定
10月12日	秘書室	石黒・大島 中野・増田	梅澤先生への経過報告を行う
10月14日	223教室	全員	梅澤先生に頂いたアドバイスをまとめ、SRICに向けての話し合い
10月28日	223教室	全員	SRICで準備するポイント順次の作成
10月29日	223教室	石黒・大島 増田・立野	マップ作業時間計画のためのフィールドワーク計画立て
11月1日	111教室	石黒・大島 増田・立野	マップ作業時間計画の作成
11月4日	223教室	全員	パワーポイントの作成
11月5日	永山・聖蹟桜ヶ丘	石黒・大島 増田・立野	前夜時間の計画を行う
11月10日	121教室	石黒・立野 中野・増田	パワーポイントの作成
11月11日	223教室	石黒・立野 中野・増田	パワーポイントの作成。梅澤先生に確認して頂く。
11月12日	永山・多摩センター	石黒・立野 中野・増田	前夜時間の計画を行う
11月15日	223教室	石黒・立野 中野・増田	パワーポイントの作成
11月17日	121教室	石黒・立野 中野・増田	パワーポイントの作成。地図の作成
11月22日	121教室	石黒・立野 中野・増田	パワーポイントの作成。地図の作成。SRIC配布資料作成
11月24日	図書室	石黒・立野 中野・増田	パワーポイントの作成。地図の作成。SRIC配布資料作成
11月25日	223教室	石黒・立野 中野・増田	フィールドワーク事前確認。パワーポイントの作成。地図の作成
11月26日	多摩市内	石黒・立野 中野・増田	スポットの探索。休憩施設の確認
11月29日	121教室	石黒・立野 中野・増田	地図の作成
12月1日	121教室	石黒・立野 中野・増田	パワーポイントの作成。地図の作成
12月2日	223教室	石黒・立野 中野・増田	SRIC配布資料の発表。先生よりアドバイス頂く。
12月3日	111教室	石黒・立野 中野・増田	SRIC配布資料の訂正
12月4日	121教室	石黒・立野 中野・増田	パワーポイントの作成
12月8日	図書室	石黒・立野 中野・増田	パワーポイントの作成
12月9日	223教室	石黒・立野 中野・増田	SRIC作業確認
12月10日	121教室	石黒・立野 中野・増田	SRIC作業確認
12月13日	図書室	石黒・立野 中野・増田	SRIC作業確認
12月15日	223教室	石黒・立野 中野・増田	SRIC作業確認
12月16日	121教室	石黒・立野 中野・増田	SRIC作業確認
12月18日	201教室	石黒・立野 中野・増田	SRIC作業確認
12月19日	223教室	石黒・立野 中野・増田	SRIC作業確認
12月20日	223教室	石黒・立野 中野・増田	SRIC作業確認
12月21日	223教室	石黒・立野 中野・増田	SRIC作業確認
1月24日	図書室	石黒・立野 中野・増田	地域作業発生でのスケジュールを定める
2月2日	多摩市役所	石黒・大島 増田・立野	地域作業発生でのポイントの作成
2月2日	多摩市役所	石黒・大島 増田・立野	経過報告、マップのアップデートを頂いた。
2月4日	ひじり館	石黒・立野	印刷用マップの作成。配布資料とパワーポイントの修正

- ・フィールドワークは計14回。約34時間。
- ・ミーティングは計45回。

12

考察

○多摩市の魅力

- ・緑豊かな公園が数多くある。
- ・人が集まる大きな公園がある。
- ・公園から見る多摩市の景観がすばらしい。

○多摩市の問題点

- ・観光資源を活かしきれていない。
- ・学校など施設付近なのにもかかわらず、道幅が狭く、歩道や横断歩道がない箇所が多かった。
- ・レンタサイクルサービスが永山駅駐輪所、唐木田リサイクルセンターの二か所と少ない。

13

今後の課題について

- ・マップの見やすさを追求する。
- ・わかりやすいポタリングマップを制作する。

完成したマップを多摩市役所に提案し、観光資源として活用してもらえるようにしたい。

14

補足：永山駅駐輪所レンタサイクル

料金：24時間200円

貸出時間：

平日6:00～20:00

日曜・祝日8:00～17:00



ハンドルが高めのママチャリタイプ

運営：(財)自転車駐車場
整備センター

15

参考文献

- 多摩市役所経済観光課『多摩市観光マップ』2010年
- 港サイクリングクラブ『東京自転車散歩案内』山海堂1994年
- 疋田智『快適自転車ライフ』岩波アクティブ書店2002年
- 徳間書店編『自転車さんぽ-東京近郊ベストコースガイド』徳間書店2008年
- 多摩市役所 <http://www.city.tama.lg.jp/>
- 多摩市市立健康センター <http://www.city.tama.lg.jp/shisetsu/004219.html>
- キョリ測(β) <http://www.mapion.co.jp/route/>

16

お礼

※今回このマップ制作に当たり、市役所より多摩市地図の使用許可を得ています。

※多摩市役所教育振興課 山崎 和巳 様
道路交通課 宮崎 武 様
多摩大学 浜田 正幸 先生
に感謝申し上げます。

ご静聴ありがとうございました。

17

多摩市サイクルマップ制作プロジェクト

発表者 石黒秀多、大森麻太郎、立野雄太、中野知致、増田淳 (梅澤ゼミ 3 年)

1. プロジェクトの目的

身近な移動手段として使われている自転車、環境に優しく、健康的な乗り物として注目を浴びている。現在、自転車は、主に買い物や通勤通学などの目的で利用されている。我々は、暮らしの中で日常的に利用されているシティサイクル(ママチャリ)で気軽に楽しむことができる多摩市のポタリングコースを作りたく考えた。このプロジェクトを通して日常生活圏の余暇活動としての自転車の魅力について伝えたい。自転車を漕ぐことの面白さ、奥深さに気付きを与え、この活動をきっかけにしてレジャーとしての自転車の楽しさを再認識してもらいたいと考えた。

2. プロジェクトを始めたきっかけとコンセプト (ポタリング)

プロジェクトを行うにあたっては、自転車をテーママップ制作を行いたいと考えた。取りかかるに当たり、多摩市役所に既存のサイクルマップの有無を確認したところ無いことが判明した。そこで、自分たちで多摩の自然を生かしたサイクルマップを制作したいと考えた。
サイクルマップ制作にあたっては、“ポタリング”をコンセプトにした。老若男女、誰もがレジャーとしての自転車の楽しさに気付いてもらうことにつながると考えたからである。

3. ポタリングとは

語源は【potter】から【potter】に変化したもので、「のんびりする」「ぶらつく」という意味の和製英語である。つまり比較的短距離を、自転車を用いて「散歩」と言うことで、観光名所を周る時などに使われている。

4. プロジェクト期間と調査エリア

期間：2010 年 5 月 ～ 2011 年 2 月 (計 10 か月) 調査対象エリア：東京都 多摩市内

5. プロジェクト概要

マップ製作の手順としては、ミーティング時にメンバー全員で地図を確認し、フィールドワーク実施日と走行範囲の検討を行う。フィールドワーク終了後、その日の内に感想や課題点を報告書にまとめ、情報共有を図る。その後、タイピングを見てミーティングをはさみ、集まった報告書の情報を元にマップを構築していく。フィールドワークは、京王永山駅のレンタサイクルを利用して行った。実施回数は、計 14 回のべ 34 時間となった。

6. ポタリングコース(裏面地図参照)

☆ いろは坂コース：永山駅→諏訪名店街→尾根幹線→多摩大学→都立桜ヶ丘公園→ゆうひの丘→川崎街道→(選択Aルート：交通公園→多摩サイクルングロード)→聖蹟桜ヶ丘駅→さくら通り→
→いろは坂→(※選択Bルート：大栗川)→原峰公園→いろは坂→多摩ニュータウン通り→
→永山駅
※大栗川ルートはいろは坂を通りません。

コース名/データ	所要時間/分	走行距離/km	消費カロリー/kcal	カロリー換算/おにぎり(個)
いろは坂コース	70分	12km	387kcal	2.4個
選択Aルート	27分	5km	161kcal	1個
選択Bルート	16分	3.1km	101kcal	0.6個
回避路α	9分	1.7km	54kcal	0.3個

(数値はおおよそのデータです。)

☆公園巡りコース：永山駅→多摩ニュータウン通り→稲荷橋通り→鶴牧東公園・奈良原公園・宝野公園→
→多摩中央公園→多摩ニュータウン通り(選択ルートC：尾根幹線)→永山駅

コース名/データ	所要時間/分	走行距離/km	消費カロリー/kcal	カロリー換算/おにぎり(個)
公園巡りコース	60分	10km	315kcal	2個
選択Cルート	19分	3.6km	119kcal	0.7個
回避路β	12分	2.4km	77kcal	0.5個

(数値はおおよそのデータです。)

(O)内は、選択ルートとは、実際に走行してみてコースから削除するには忍びないと感じたルートである。走りたくない人への増長コース、違ったコースを楽しめるコースとして組み入れた。

7. 考察

プロジェクトを通じて多摩市の魅力、問題点などが明らかになった。魅力として多摩市には緑豊かな公園が数多くあり、その中には人が多く集まる賑やかで大きな公園も存在する。公園などの丘から見る多摩市の景観も素晴らしいものがあった。

問題点としては、そうした観光資源を活かしきれないという現状がある。また、学校など公共施設付近でも道幅が狭く、歩道や横断歩道がない箇所も多かった。活用したレンタサイクルも認知度が低い。他にも今回のサイクルマップ地域から外れるが、唐木田にあるリサイクルセンターでも取り扱っていることがわかった。

8. 今後の課題について

今後は市民に向けて、マップの見やすさを追求し、面白くわかりやすいポタリングマップを制作する。完成したマップを多摩市役所に提案し、観光資源として広く活用してもらえようようにしたいと考えている。

9. 補足：永山駅駐輪所レンタサイクル



プロジェクトで利用したレンタサイクルは、ハンドルが高めのママチャリ式の自転車だった。料金は 24 時間 200 円。貸出時間は平日 6:00～20:00 日曜・祝日 8:00～17:00。

利用には申請書記入しなければならないが、初回に「利用登録書」が発行されるので、以降は「利用登録書」提示し、料金を支払うだけでレンタサイクルを利用できる。

管理は、(財)自転車駐車場整備センター

10. 参考資料、URL

- ・多摩市役所経済観光課『多摩市観光マップ』2010 年
- ・港サイクルングクラブ『東京自転車散歩案内』山海堂 1994 年
- ・疋田智『快適自転車ライフ』岩波アクティブ書店 2002 年
- ・徳間書店編『自転車さんぽ-東京近郊ベストコースガイド』徳間書店 2008 年
- ・多摩市役所 <http://www.city.tama.lg.jp/>
- ・多摩市市立健康センター <http://www.city.tama.lg.jp/shisetsu/004219.html>
- ・みんなの知識【ちよつと便利帳】 http://www.benricho.org/map_distance/#
- ・キョリ測(β) <http://www.mapion.co.jp/route/>

※制作したマップについては、多摩市役所より多摩市地図の使用許可を得ています。

※ご協力頂いた多摩市役所教育振興課 山崎 和己様、道路交通課 宮崎 武様、さまざまなアドバイスを頂いた 浜田 正幸先生に感謝申し上げます。

